

教育目標：心身を鍛え記録に挑む生徒 自ら考え正しい判断をする生徒

責任をもち進んで行動する生徒 友情を大切に思いやりの心をもち協力する生徒

学校だより

NO. 12 2006.3.17

桜橋中学校長 木島 光二

◎ 三年生を送る会 → 卒業式

13(月)、三年生を送る会が行われました。生徒会役員会を中心に、企画・運営された会でした。

「3年間のあゆみ」では、1, 2年生の頃の懐かしい写真が出てきて、3年生はすごく盛り上がっていました。その後、各学年の合唱がありましたが、やはり、「3年生はさすがだな」と感じました。卒業式でも、しっかり歌ってくれることを期待しています。

練習時間が少ない中で、たいへんだったと思います。これにより、卒業式に向けての気持ちが高まったことでしょう。卒業式の主役は3年生ですが、1, 2年生も桜橋中生としての誇りと自覚をもって式に臨んでくれることでしょう。



◎ 生徒会誌:永遠の詩より

生徒会誌：永遠の詩に寄稿した「校長の言葉」を載せさせていただきます。

今年度は、皆さんにとってどんな一年間だったのでしょうか。三年生は中学校最後の詰めをしっかりとできたでしょうか。二年生は最高学年の三年生になる基盤を固めることができたでしょうか。一年生は中学生としての良いスタートを切れたでしょうか。私は、全体的には、しっかりとできたのではないかと思います。一方、個人的または個別的に詳しく振り返ってみると、「もう少し桜橋中学校の一員としての誇りと自覚をもって行動して欲しかった」と思える部分もあります。そこで、皆さんに次の二点をお願いします。

第一に、「自分自身を大切にしたい」ということです。これは、朝礼などで何度も繰り返して話していることですが、ぜひお願いします。皆さんの可能性は無敵大です。自分の夢をもち、それを目指す。その夢の実現に向けて、今やらなければならないことを具体的に考え、行動に移す。もし失敗したら、その原因をつきとめ、改善して再挑戦する。この繰り返しが自分自身を成長させてくれます。決してあきらめないことです。自分とはずっとつきあっていくのだから、絶対に自分から逃げてはいけません。

校歌の一番に「青空みたいなその心で 未来(あした)に向かって歩き出そう チャレンジの数だけ強くなれるさ ah・・・いつまでも夢があるから ah・・・いつまでも輝きつづける Drem of Forever」とありますが、まさにこの通りなのです。

第二に、「桜橋中学校を大切にしたい」ということです。桜橋中学校を誇りに思えるかそうでないかは、皆さん一人一人の行動にかかっています。校内ではもちろんのこと、校外においても、桜橋中学校に所属していることを自覚した行動をすることが必要です。生徒会活動を大切にすることも一つの具体策として挙げられます。何をするにも、自分達の手で、自分達の学校を良くしていくことを目指して欲しい。先生方に指示される前に、自分たちで気付いて行動して欲しい。先生方に注意される前に、自分たちで注意し合って欲しい。そのようなことができる生徒会活動や生徒どうしの関係が出来上がったなら、桜橋中学校は本当に素晴らしい学校になるでしょう。

なお、校歌の二番と三番には、そのような内容が含まれていると思います（紙面の関係で省略します）。

皆さんは縁あって桜橋中学校の一員となりました。皆さん一人一人がしっかりと成長していくこと、桜橋中学校を誇りに思えることを願っています。そして、「校歌を歌う時は、以上で述べた二点を思い出して下さい」ということを最後をお願いして、生徒会誌『永遠の詩』の言葉とします。

卒業生・在校生の皆さんへ

卒業式は、きっと皆さんの心がこもった式になることでしょう。

校歌を歌う時は、上記の内容を思い出しながら歌ってください。